

## 令和 7 年度 三芳地区タウンミーティング 発言要旨

【日 時】 令和 7 年 8 月 31 日(日)10:00~11:30

【場 所】 東予北地域交流センター 多目的ホール

【参加者】 地域:19 人 (三芳地区連合自治会長ほか)

市:市長、副市長、教育長、学校政策課長、三芳公民館長(司会)

【テーマ】 (1)小中学校の統廃合について

(2)自治会のあり方について

(3)フリートーク

### **R7.8.31 当日の発言内容**

(1)小中学校の統廃合について

#### ■参加者

- ・児童数が減少している。(三芳小 80 人、楠河 76 人、庄内 60 人 ※令和 7 年 5 月時点)
- ・将来的に統廃合はやむをえないと思うが、学校がなくなれば、地域が廃れるのではないかとの心配の  
声がある。地域の声をどう反映させていくのか市の方向性を聞きたい。

#### ●学校政策課長

- ・(答申書の写しを資料として配布し、内容を説明)  
西条市学校適性規模・適正配置等審議会が令和6年度に組織され、7回の会を重ねた結果として、この  
答申書が提出されている。
- ・広報や市ホームページ等で周知しているものの、答申書の内容について周知不足ということで反省し  
ている。現在、市内全域において、タウンミーティング以外の場でも説明に伺っている。
- ・答申書の計画案では、今後 10 年を 1 期、25 年を 2 期とし、東予地域においては、三芳・庄内・楠河小  
を 10 年以内に 1 校にする案となっているが、正式に決定しているものではない。
- ・付帯意見では、「小規模校を全て廃止するわけではなく、その課題を解消しつつ多様な学校のあり方を  
検討する」と示されており、多様な学校のあり方について、皆様と一緒に検討していきたい。

#### ●参加者

- ・統合する場合、どの場所に集まるのか決まっているのか。

#### ●学校政策課長

- ・現状、何も決まっていない。今後、地域の皆さんの意見を伺いながら、統合しようとなった場合には、一  
つの案として提示していきたいが、あくまで案。

#### ●市長 (文部科学省の報告書に基づく資料の内容を説明)

- ・学校の適性化には保護者や住民との合意形成が必要。

- ・小規模校のメリットを活かす取り組みへの支援が重要。
- ・全国的に見て、統合形態は2校を1校にするケースが多い。
- ・統合後の学校施設は改修されないケースが多い。
- ・統合検討開始から開校までの期間は3年以内が多い。など

- ・審議会は自分の就任前に設置され、就任後に答申書が提出された状況であり、一案として参考にさせていただく。
- ・一番大事なのは、地域のみなさんの考えなので、様々なデータをお示しして考えを伺いたい。

#### ■参加者

- ・西条市は合併を繰り返した結果、周辺部が寂れてきたと感じている。どんどん子どもが少なくなり、この問題が発生している。昔は三芳もにぎわっていたのに、残念に思っている。
- ・西条市は市中心部の活性化に力を入れているようだ。
- ・統廃合は後ろ向きの考え方ではないか。人口減少したから「統廃合」するのではなく、周辺部に人が集まる施策をとってほしい。

#### ●市長

- ・同感である。
- ・人が集まることも大事だが、人が住めるようにすることも大事で、働く場が必要。そのために現在、企業誘致に力を入れている。
- ・西条地域にある県の土地で企業誘致を進めているが、東予地域にも力を入れていきたい。この地域は、教育レベルが高く、住みやすいということも認識しているが、働く場がないということも事実。
- ・農地の問題(青地の農地転用は難しい)もあり、ハードルが高いが、企業が進出できるようにしていきたい。
- ・また、農業が盛んであると思っている。加工場の誘致にもしっかり取り組んでいきたい。数年かかるかもしれないが、今は辛抱の時だと思っている。皆様のご理解ご協力を賜りたい。

## (2)自治会のあり方

### ▶自治会加入率の低下

#### ■参加者

- ・自治会加入率が低下しており、高齢を理由に退会する例もある。また、社会福祉協議会の会費や日赤の募金を理由に退会を検討しているという声も聞く。
- ・自治会のメリットについて聞かれることもある。自治会の活動の減少や住民同士の交流の機会が減少していることが、地域コミュニティの衰退につながっているのではないかと考えられる。

#### ●市長

- ・40～50年前の自治会は活気があった。現在、若い方は、自治会に加入するメリットが感じられないと

考える人が多いのではないか。今日のように、若い人が自治会に積極的に参画していただけるのは非常にありがたい。

- ・自治会加入率は西条地域の方が低く、マンションや賃貸アパートの住人が未加入であることが原因ではないかと考えられる。
- ・自治会活動の低下理由には、財政面での問題が大きいのではないか。以前、広報紙の配布を自治会がやっていたため、それが自治会の収入となっていた。
- ・解決策としては、防災面で自治会活動を活発化させることが重要であると考え。特に高齢者への対応の際に自治会は大事だと思う。任意団体であるが、市がどのようにサポートできるかが問題だと思っている。
- ・また、個人的にはモデル事業として、大半がボランティアであるものの一部を有償ボランティアとするのも一つの方法かと考える。
- ・市としては、健康寿命の延伸を目的として、健康診断の受診率を上げていきたいと考えている。健診に行きたくても行けない人を町内会(自治会)がサポートすることで、受診率が向上した場合にインセンティブを付与するといった取り組みを担当部署と検討している。今後、調査研究させていただきたい。
- ・防災の関係では、自治会未加入者に対して、会への参加や資料配布を有料にしている自治会もあるようだ。
- ・基本構成として、町内会(単位自治会)があり、次に連合自治会、そして市の連合自治会となっていると思うので、しっかりサポートすることが市の役割だと認識している。
- ・各地域でいい取り組みをしていると思うので、それを披露いただく場を設けていただきたらと思う。具体的には、特に若い方が活躍されている取り組み。

#### ▶募金の徴収・防犯灯の維持管理費

##### ■参加者

- ・自治会長になって 2 年目だが、地域の人になぜ募金が1世帯500円かと聞かれたことがある。自分自身自治会長になって初めて募金で500円引かれていることを知った。500 円を払うのが負担という声もある。
- ・自治会の会費を徴収されるが、使用用途がわからない。
- ・募金については市の方で金額を決めて、自治会に依頼があると思うがどうなのか。

##### ■参加者

- ・自分の地区では年に1回募金を集めている。それとは別に、地区会費として500円集めており、防犯灯維持管理費等に充てている。

##### ■参加者

- ・募金なので、金額は自由でいいとは思。便宜上、500円をお願いしているもので、これまで神社など色々な団体が、自治会に集金をお願いしてきていた。本来であれば共同募金等は社会福祉協議会が集めるのが筋だと思う。
- ・各地区の自治会長は社会福祉協議会の役員を兼ねていることもあり、集めやすいということもあり、今

に至っている。

- ・防犯灯の関係も地区で異なっている。地区で資金を募っているところもあれば、有志で集めているところもある。防犯灯は個人のものでないので、市の方で、電球の交換や電気代補助をもう少し補助を充実させてほしい。そうすれば、地域住民の負担も少し減ると思う。

#### ●市長

- ・自治会費とそれ以外の各種団体に関する募金や会費の集金などが混同しているようだが、共通認識が不足しているところが問題ではないかと思っている。
- ・共通認識を確立するには市が関わらなければならないと思う。
- ・皆さんが安心して役員をできるようにしていきたい。市の方で窓口があればいいと思うが、すぐにはできないと思うので、数年をかけて調査研究させていただきたい。

### (3)フリートーク

#### ▶大明神川川底の雑草

##### ■参加者

- ・毎回お願いしているが、大明神川に草が生い茂っている。過去、市長に直接2回お願いし、その際、県の管轄であると聞いたので、中村知事をお願いしたときにはすぐに来て少し対応してくれた。
- ・現在、また、上手の方に草が生えている。大雨時に溢れる可能性があるので、早急に対応していただきたい。

#### ●市長

- ・今回のように直接言っていただければ、確認する。立場上、愛媛県砂防協会の会長なので、すぐに通るかはわからないが、県にしっかり要望していきたい。

#### ▶外国人誘致

##### ■参加者

- ・子どもが少なくなり、小中学校の統廃合は仕方ないと思っている。個人的には、人口減少の根本的な解決のため、IT企業を設立し外国から優秀な人材を招へいし、その家族を呼び寄せてはどうかと思う。日本国内だけの考えでは収まらないと思っている。
- ・ただ、日本人は外国人が入ってくることに對して嫌悪感を持っていることがある。

#### ●市長

- ・産業の活性化、企業誘致という点では、確かに日本人のみにこだわることには限界がある。
- ・半導体関連は外国企業が進んでいることが多い。
- ・そうなると一定の外国人が来られることが想定されるが、まずは住民の心配にならないようにすることが一番。
- ・いずれにしても交流が必要だと思っている。外国渡航歴のある方にとっては違和感がないと思うが、な

いは感じるということも認識できる。

- ・西条市にも2,000人以上の外国人が来ている。いろいろなガイダンスを行い、地域住民との軋轢が生まれないようにしていきたい。
- ・地域住民の意見を聞くことが大事だと思うので、外国企業が来るということであれば、しっかり皆さんに説明しながら企業誘致を進めていきたい。

### ▶三芳公園駐車場

#### ■参加者

- ・三芳公園に車で遊びに来る人がいるが、駐車場がない。近くの道路に車を駐車していく人がいるが、幅員が狭いので大きい車が通れないことがある。
- ・市道楠浜北条線の使っていない両端の道路を駐車場として利用してはどうか。

#### ●副市長

- ・道路は警察が関係するので市単独での対応は難しい。公園自体の面積を縮小させて、入口付近に数台の駐車スペースを設置することを検討している。仮設の駐車スペースを確保して仮運用を考えている。
- ・地域の公園は、元々各地域で利用していただける公園として設置しているため、基本的に歩いて来れる方の利用を前提としている。ただ、車社会であることは理解しており、小さい子どもも利用するという事で検討している。

#### ■参加者

- ・公園の敷地内に駐車場を作るのであれば、子どもが危ないのではないか。

#### ●副市長

- ・安全なスペースをしっかりと設けていきたい。

### ▶三芳公民館前交差点の信号機

#### ■参加者

- ・公民館前の交差点で子どもが横断する時心配なので、信号機を設置してほしい。

#### ●市長

- ・警察に要望していく。